

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp



シリーズ 地域と共に歩む

「土湯温泉町」
 土湯と夢二と古閑裕而の物語

2020年の子年にして1001号となる今回の本誌であるが、新たなスタートの佳節を迎えるにあたり「地域と共に歩む」と題して、多宝会が日頃よりお世話になっている地域を、時節に応じた視点と角度でご紹介してまいります。第一回となる今回は、多宝会の発祥の地でもある「土湯温泉」にご紹介する。土湯温泉はご存知のとおり、開湯千年

の歴史をもち、こけし三大発祥地のひとつとしても有名な温泉観光地である。本年の福島市における大きな出来事のひとつに、本市出身の大作作曲家でもある古閑裕而先生とその妻である金子さんをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説「エール」の放映があるが、実はこの土湯温泉と古閑裕而先生との間には、大正ロマンを代表する画家でもある「竹久夢二」というキーワードで結ばれていた。

昭和5(1930)年、コロムビアに念願の入社を果たした古閑は翌年、専属作曲家としての活動を開始



(作詞竹久夢二)に決定された。

この「福島夜曲(せれな〜で)」は、1929(昭和4)年、川俣銀行に勤務中だった古閑が大の夢二ファンであったこともあり、夢二展が福島で開催されることを聞きつけて早速会場に出かけ、巻紙に描かれた水彩色の詩画「福島夜曲」に深く感動、歌心が湧き起こり、短歌を全部ノートに写して帰宅、すぐに部屋にこもり感興の赴くままに作曲。そのまま初対面の夢二の宿泊先を訪ねて作品を献上。ここから曲の誕生と発売へと繋がっていく。

肝心の土湯温泉との結びつきであるが、夢二は、福島のホテルを定宿にし、大正3年から昭和4年までの15年余、関東から福島、会

津方面を往来しており、その総まとめが十二景にわたる「福島夜曲」の詩画であったとされている。その際に「土湯温泉」に頻りに立ち寄り温泉に入り、自然を満喫したとされている。その片鱗が「福島夜曲(せれな〜で)」の歌詞に「思ひの瀧」という土湯温泉町固有の景勝地名が明確に歌われていることである。

夢二に憧れた古閑。福島に所縁のある夢二。令和の今、二人の想いは土湯温泉で交わり、朝ドラ「エール」として奏でられる。放映の開始は3月30日である。多宝会がお世話になっている土湯温泉町に、古閑裕而先生と竹久夢二先生お二人と「福島夜曲(せれな〜で)」に想いを馳せながら、あらためて寄り添ってみたいと思う。

第13回理事会開催

去る11月25日17時より、まちなか宝生園こころホールにて、第13回理事会が開催された。今年の法人運営状況を報告し、新しい年を迎える場でもある。始めに加藤理事長より「今年は、技能実習生受入準備、介護ロボット導入等を行った。経営は順当ではあるが、役員の皆様への厳しい目線で、忌憚なきご意見を頂きたい」と挨拶があった。引き続き、令和元年度中間報告、第一補正予算、業務契約等と次

去る2月21日14時より、まちなか宝生園8階こころホールにて「令和元年度第二回苦情解決第三者委員会」が開催された。今回は、各事業所の報告事項の協議の他、苦情受付担当者の役割、苦情受付時のポイント等、

令和元年度第二回苦情解決第三者委員会開催

齋藤圭太施設長が講師となり、パワーポイントを使用しながら「苦情受付に関するミニ勉強会」が行われた。最後に第三者委員の方からは、「受付担当者は、直接苦情等を受付ける立場である。本当に大変なお仕事で



第により進められ、役員から質疑等の活発な発言があり、慎重な審議を重ねた結果、全て原案通り採択され、理事会の一切が終了した。

夢の貯金箱

1月1日に日本財団チャリティー自販機をまちなか宝生園に2台設置した。通称「夢の貯金箱」である。飲料1本購入につき、10円が社会貢献プロジェクトに寄付される仕組みである。これによりCSR活動に職員全員で参加できる。



新日本舞踊の舞

新日本舞踊 藤代流の皆様がアリヴァールで踊りを披露した。大慶の舞から始まり、全8演目。ご利用者の皆様、素敵な踊りを真剣にご覧になっていた。

「すね」と、日ごろの業務をねぎらう言葉を頂いた。



地域の学生さん

去る1月21日福学院大学短期大学部情報ビジネス学科2年安田ゼミの皆様がまちなか宝生園に来館し、朗読を披露した。始まる前は緊張した面持ちだったが、いざ始めると、練習の成果を発揮し、表情豊かに声の協調や口調、トーンを話す内容により変え、「桃太郎」や「くもの糸」など全5題目を朗読した。最後の挨拶時には、ご



利用者より握手や声をかけられ、交流を図った。また2月4日には学校法人松韻学園福島高等学校の生徒3名がまちなか宝生園に会社見学会で来館した。最初は緊張した様子で、普段のご利用者の過ごし方など質問していたが、ディサービスの節々に参加すると緊張した様子もほぐれ、ご利用者と触れ合った。帰り際には、「将来介護職員になりま



「将来介護職員になりま」と。将来の介護職員が生まれた。

ハンドケア

後藤由美子様とそのご友人がまちなか宝生園に来館し、ハンドケアを行った。冬場はより乾燥するため、ハンドマッサージでしっかりとすべすべになった手を見て、ご利用者は大変満足の様子だった。



響き渡る歌声

韓国出身のソスヨン様が、まちなか宝生園で、韓国衣装のチマチヨゴリを身にまとい、歌謡曲をはじめ、自身が作詞した歌等披露した。迫力ある歌声は、ホール中に響き渡った。



厚志御礼

阿部 千ヨ 様
 久保寺 フク 様

この度は、ご寄付を賜り誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

桜梅桃李

ウイルスと人間との戦いは古より続いてきたが、最古の事例では、数千年前にヨーロッパや北アフリカで初めて出現したとされている。▼宇宙人が登場する地球侵略がテーマの洋画では、人間がウイルスの存在に酷似しているかのように見立て、脅威として攻撃を仕掛けてくるシーンがあるが、我々人類からしてもウイルスという存在は切実な脅威であり、永遠のライバルと言っても過言ではないだろう。▼いま地球規模で猛威を奮っている「新型コロナウイルス」もそのひとつである。▼専門家によると、ウイルスというのは、その行動に意思はなく「増えよう」とか「拡大させよう」というのではなしに「環境が与えられたから増えているだけ」なのだという。また、宿主に寄生しなければ生きていけない極めて活動範囲が制限された存在でもあるという。▼そう考えた時、人類とウイルスには決定的な違いがある。それは、自らの意思をもち、自ら他者との関わりをもつて和を尊び、環境に左右されることなく人生を築き、世界の平和を求め続ける...という崇高な存在であるといえよう。▼いつしか宇宙人にも、このウイルスと人類の火を見るより明らかでない理解していただける日が来ることを信じてやまない。

多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。黄は奉仕、青は信頼、赤は勇気を表しています。

施設の話題をいち早くお届けする

多宝会 HOTLINE

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

ケアハウスで3年連続受賞

第45回福島市福祉作品展が開催されました。ケアハウスからは書道を出展いたしました。毎月稽古を重ねたかいもあり、見事3年連続「福島市福祉事務所長賞」を受賞しました。会場の人達からも賛辞の言葉を頂き、喜び且つ来年の作品に意欲を燃やす姿が見られました。



デイサービスのクリスマス調理レク

ミートローフ、オニオンスープ、マッシュポテトの3品を作りました。「皆で一緒に作って食べるのは美味しい」「自分ができることがあるのは嬉しい」等の声もあり、皆様役割を持って、いきいきと取り組んでおられました。



ケアハウス新年会

東京から招いた職人の握る寿司バイキングや、創意工夫を凝らしたオードブルに舌鼓を打ちました。余興では、目隠しをして食材を当てるゲームを行い会場は大いに盛り上がりしました。最後は合唱で締めくくりました。



デイサービスのバレンタイン

パントリュフ&フルーツチョコ作りを行いました。丸めた食パンをチョコやココアパウダーで飾り付けました。また、フルーツにチョコをつけてピックで可愛らしく施しました。「皆でやるのは楽しいね」等の喜びの声があり、淹れたてのコーヒーと紅茶で、優雅なひと時を過ごしました。



土湯宝生園

まちなか宝生園

サンタがやってきた!

板倉雅信様がサンタとなり、まちなか宝生園を訪れました。ご利用者と手を取り合い、皆様大喜びでクリスマスソングを一緒に歌いました。



デイサービス年送り大運動会

今年は「桃太郎と大運動会」という事で、ご利用者が桃太郎となり、おじいさんを助けるべく「きび団子送り」「鬼退治」競技を楽しみました。その後、サイダーで乾杯、ビンゴゲームを楽しみました。



特養・ショートのお忘年会

今年も職員の出し物を披露し、ご利用者参加の合唱やビンゴ大会等、バラエティーに富んだ忘年会でした。「また来年もよろしくね」等、お喜びの声を多数頂きました。



もちつき大会

今年一年ご利用者の健康を願い、皆で声を掛け合い餅つきを行いました。ご利用者が千本杵でつきましたが、さすが腰の入れ方がベテランでした。杵と臼でついたお餅の味は格別でした。



デイサービスのクラブ活動

今回は「書道」「パステルアート」を行いました。書道では皆さん上手に書き、楽しまれました。またパステルアートでは、パステルチョークを削った粉で「節分の鬼」を描きました。



合同新年会

アリヴァーレ宝生園、ほのぼの宝生園合同新年会を行いました。大きな掛け声とともに令和初の餅つきがスタートし、杵や千本木を使ってつきました。「なつかしい」「上手くつけるかな?」「上手くつけるかな?」等の声がありましたが、昔とった杵柄なのか、皆さん上手でした。つきたての餅は、あんやみたらし、くるみ、つゆ餅にして美味しくいただきました。また、獅子に頭を噛んでもらい、今年一年の無病息災をお願いしました。



ほのぼの宝生園クリスマス

アリヴァーレほのぼの宝生園

当初職員がサンタになる予定でしたが、ご利用者が衣装を着たところ「あら似合ってるじゃない」「暖かそうでいいわ」と喜ばれたので、急遽ご利用者全員がサンタになりました。ピザやケーキを食べたり、歌ったりして笑顔の絶えないクリスマスでした。



豆まき

鬼に豆をぶつけることで邪気を払い、一年の無病息災を願いながら豆まきを行いました。「鬼は外」「福は内」と大きな声で豆まきを楽しみました。



地域包括支援センター

上名倉東部千寿会での講話

上名倉東部千寿会の研修旅行の一環で、磐梯横向温泉「森の料亭マウント磐梯」で、健康講話を実施しました。口腔の衛生状態が様々な疾病を誘発し、健康寿命が関係していることを説明、「ももりん体操」の実施、消費者被害についての注意喚起を行いました。



クリスマス会

サンドイッチや寿司など美味しい料理を食べゲームを楽しむユニットや甘いスイーツとプレゼントを満喫するユニットなど、楽しいクリスマス会でした。プレゼントは職員が、ご利用者一人一人のことを思いながら選びました。



餅つき

ボランティアの方にご協力いただきながら、餅つきを行いました。ご利用者も杵を持ち、「よっこいしょー」と掛け声をかけて、ペタン・ペタン。つきたてのお餅は、雑煮やあんこ餅、ずんだ餅、ゴマ餅となり、あっという間にご利用者のお口の中に入りました。



今年も元気に「こっこー！」

今年も元気な子供たちが「こっこー！」と言いながら、施設にやって来ました。木村屋ではお菓子の詰め合わせを準備して、ご利用者から子供たちに手渡しをしました。その後、握手をしながら「めんこいなあ」「子供は宝」と目じりが下がりはなしでした。



節分

恵方巻を食べてから、豆まきを行いました。今年は鬼の衣装を新調しました。頭を撫でながら「かわいい鬼だな〜」と言いながらも、思いっきり豆を投げていました。福が多い一年になりますように。



宝寿木村屋

徹底するわ!
かふん!
様に「打倒コロナ!」で体調管理を
朝ちゃんどドラマ観れる
んの大ファンなのよ!毎
るわね!私、窪田正孝く
朝ドラ「エール」が始ま
いよいよ3月30日から

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	http://www.tahokai.jp